

看護専門科目	臨床応用専門科目					
看護学科	必修	1単位	講義	平成30年度	前期	2年次
科目名	老年看護学概論 Introduction of Gerontological Nursing					
担当教員	船瀬孝子					
目的	老年期を生きる人々の身体・心理・社会的特徴を学び、わが国の高齢社会の特徴と課題・保健医療福祉の概要および老年期の人の健康問題と看護について学ぶ。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 老年期を生きる人々を多角的にとらえ、発達課題を理解できる。 2. 加齢に伴う心身の諸機能の変化と生活への影響を理解できる。 3. 高齢者に特徴的な生理的特徴とおこりやすい健康問題について理解できる。 4. 高齢者を取り巻く社会的状況・保健医療福祉の動向について理解できる。 5. 老年看護の理念と倫理的課題について考察できる。 					
他科目との関連	体のしくみと疾病の成り立ちⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ、保健医療福祉行政論、社会福祉原論、老年看護学実践論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験の成績				0.7
	レポート	課題レポート				0.3
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	<p>①佐々木英忠，鳥羽研二他．系統看護学講座専門分野Ⅱ老年看護病態・疾患論．第5版．東京：医学書院；2018．（ISBN978-4-260-03172-1）</p> <p>②北川公子，井出訓，植田啓子他．系統看護学講座専門分野Ⅱ老年看護学．第9版．東京：医学書院；2018．（ISBN978-4-260-013186-8）</p>					
参考資料	適宜指示するか、配布する					
備考 (受講上注意、学習等) 事前	<p>日本の高齢化率は上昇し、平成6年には14%を超え「高齢社会」を迎えましたが、さらに上昇を続け、現在では26.7%に達し、社会的な問題として新聞や雑誌等で耳にすることが多くなっています。学生の皆さんも日常から、このような様々な情報を吸収し、それを自分なりに考えてみるようにしてください。授業では、高齢者を取り巻く社会や保健福祉の動向および今後の国の政策、高齢者ケアの倫理的な側面などに触れます。報道などで一般的に言われていることと、授業で学んだ内容を合わせて、高齢者への看護を考えていってほしいと思います。</p>					